



産経児童出版文化賞

「第73回産経児童出版文化賞」受賞作品決定

『もしも君の町がガザだったら』

高橋真樹さん著(ポプラ社)が大賞

産経新聞社主催、第73回産経児童出版文化賞の受賞作品9点が決定しました。昨年1年間に刊行された全児童図書で、初版が日本語で出版された小学校高学年までが読者対象の作品など4276点を審査。大賞には、高橋真樹さん著『もしも君の町がガザだったら』が選ばれました。詳細は、5月5日付の産経新聞朝刊または、ニュースサイト「産経ニュース」(<https://www.sankei.com/>)をご覧ください。

大賞 = 『もしも君の町がガザだったら』

高橋真樹 著 (ポプラ社)

JR賞 = 『どきどきしてる』 たけがみたえ 著 (偕成社)

タイハイ賞 = 『わたし、わかんない』 岩瀬成子 著 (講談社)

美術賞 = 『ある星の汽車』 森洋子 作 (福音館書店)

産経新聞社賞 = 『ずかん 石積み』

ニシ工芸石積み研究会 著 / 真田純子 監修

(技術評論社)

フジテレビ賞 『ちよつとだけともだち』

ながわちひろ 作 (のら書店)

ニッポン放送賞 = 『白い虹を投げる』

吉野万理子 作 (Gakken)

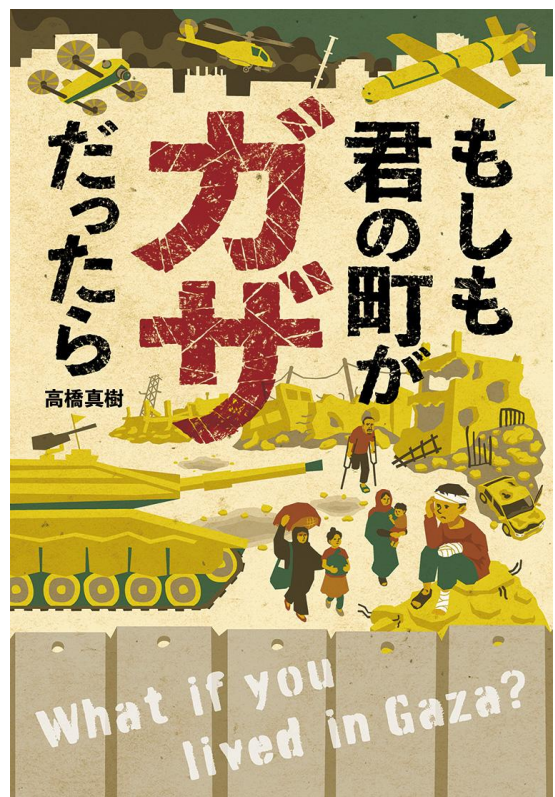
翻訳作品賞 =

『サメのイエニー』 よこのなな 訳 (岩波書店)

『レーナとヒキガエルの紳士』 河野万里子 訳 (徳間書店)

主催 産経新聞社 後援 フジテレビジョン、ニッポン放送

協賛 JR北海道、JR東日本、JR東海、JR西日本、JR四国、JR九州、JR貨物、タイハイ



【産経児童出版文化賞】「次の世代を担う子どもたちに良い本を」を主旨に、昭和29(1954)年に制定されました。これまでに児童文学、絵本、翻訳本、図鑑などの児童書約1200作品が受賞しています。戦後日本の児童文学、絵本文化の歴史を形づくってきた表彰制度です。

選考委員《文学》川端有子氏(日本女子大教授)、土居安子氏(大阪国際児童文学振興財団理事)

《絵本・美術》落合恵子氏(作家・クレヨンハウス代表)、さくまゆみこ氏(翻訳家)

《社会・科学》木下勇氏(千葉大学名誉教授)、張替恵子氏(東京子ども図書館理事長)

《ゲスト選考委員》協賛社のタイハイおよびメディア各社の選考委員が最終選考に参加